

## 保護者等向け 児童発達支援評価表

公表日：2026年3月5日

事業所名：児童発達支援 つばめ療育館

対象人数（保護者）35人 回答者数 28人 回収 80%

	チェック項目	回答状況				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されている と思いますか。	25	2		1	もっと、広いとありがたいが、簡単ではないと思 うので国？市？が支援金を施設にもっと出してあ げてほしい。	活動に合わせて、場所を変えたりパーテーション で仕切ったりしています。 運動課題時には、利用人数によっては2班に分け て実施するなど広い空間を確保するように工夫し ています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	22			6		サービス提供時間を2交代から3交代に変更した ことで、無理のない職員配置ができています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環 境になっていると思いますか。また、事業所の設備 等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝 達等への配慮が適切になされていると思いますか。	28					利用児が分かりやすく、活動しやすい環境となる よう今後も工夫を続けて参ります。 小集団になじまない段階のご利用児は、個別の支 援スペースで支援を行っています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっ ていると思いますか。また、こども達の活動に合わ せた空間となっていると思いますか。	28					支援室の衛生管理は、徹底しています。毎日の 清掃はもちろんのこと、支援室や用具の消毒を 行っています。
適切 な支 援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に 応じた専門性のある支援が受けられていると思いま すか。	28				興味がありそうな事を考えてくださり、子供の療 育に繋げてくださる。	「少しでも良いところを褒めながら伸ばす」は、 基本の対応です。ただし、危険な行為などは、 怒ってでも認知してもらわなければならないこと があります。職員として状況判断がしっかりでき るように、スキルアップに努めて参ります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の 提供する支援内容と合っていると思いますか。	28					日々、振り返りをして個々の改善を評価していま す。プログラムを変更する場合は、HGUマイ ページなどでお伝えするようにいたします。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニ ーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支 援計画（個別支援計画）が作成されていると思いま すか。	28					契約時やモニタリング時等でニーズや課題をお聞 きし、児童発達支援計画に反映させるように努め ています。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドライン の「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支 援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容 からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、 その上で、具体的な支援内容が設定されていると思 いますか。	27	1				ガイドラインに沿った児童発達支援計画書の支援 内容にしています。 ガイドラインと別の視点での専門性も取り入れて います。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思 いますか。	28					担当する職員は、児童発達支援計画の達成目標を 認識し、日々のサービスを提供しています。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫 されていると思いますか。	28					ご利用児の年齢や能力に応じた個別支援に心がけ て、できるだけ固定化しないように、興味のある 活動を盛り込みながら柔軟に対応しています。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その 他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	19	1	2	6		サービス担当者会議等で保育所や幼稚園に何っ て状況共有をさせていただいています。 個人差はありますが、障害のない子どもとの交流 については、現ご利用児の現況等で判断すると、 必要性を感じていません。社会性の前に自立力向 上の課題が優先すると考えています。
保 護 者 へ	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラ ム、利用者負担等について丁寧な説明がありました か。	28					見学时や利用開始の契約時に、丁寧に説明を行っ ています。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説 明がなされましたか。	28					利用開始や更新時に、丁寧に説明を行っていま す。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペア レント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修 会や情報提供の機会等が行われていますか。	21	1	2	4	保護者にも自宅で出来るトレーニングやマッサー ジの簡単なやり方などレクチャーいただける機会 があると大変ありがたい。 日にちが土曜で、夫が土曜も仕事の日もあるの で、(子どもを連れて行けないと)中々日に ちが合わず行けなかった。	休日での保護者向けの研修会の開催は、困難な状 況です。ご利用児に同行可能な時があれば、今で きる家庭でも可能なことなどをお伝えさせていた だきます。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こども の健康や発達の状況について共通理解ができてい ると思いますか。	27	1				保護者とは、同行時にお話をさせていただいた り、連絡帳、HUGマイページ、電話、メール等 で利用時の状況や課題について随時連絡を取り 合っています。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行 われていますか。	25	3			器具を使った大掛かりなトレーニングはなかなか 出来ないが、家庭などでも出来る支援があれば知 りたい。	就労の都合がつかず時等同行可能な機会があれば、 その都度家庭でも可能なことなどをお伝えするな ど、子育てし易い環境づくりのお手伝いをしてい ます。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思 いますか。	28					一方的な指示にならないよう、共感的な支援を心 がけています。

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	10	6	3	9	今回、就学に向けてのお話に参加させていただいた。不安だったため、先輩方からのお話はありがたかった。	つぼめ療育館では、0歳からの早期療育の普遍化を目指していますが、ほど遠い現実となっています。支援期間が短年の中で、保護者会等の結成は非現実的と考えています。
	19	子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	27	1			保護者からの相談や申し入れに対しては、個人で判断せず、チームでの方針のアドバイスをお伝えすることを原則としています。モニタリング等の機会や、日常的な相談にも迅速にお応えするように心がけています。	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	27	1			保護者には、口頭で伝わりにくい場合は、メールでのやり取りを行っています。ご利用児には、絵カード等を用いて視覚からの情報伝達を行っています。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	25			3	隔月の会報「おたより」や保護者のHUGマイページを活用し、近々の情報をお伝えしています。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	26	1		1	個人情報取扱規程に基づき、施設で保管している個人情報については厳重に管理し、内部研修会や朝のミーティング時にも取り扱いについて注意喚起を促しています。	
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17	4		7	マニュアルは作成していますが、保護者に対しては、マニュアルを特に周知はしていません。所内に要点の掲示やマニュアルを閲覧できるようにしています。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	14	2		12	年2回、地震や火災を想定した避難訓練を実施しています。	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	26			2	職員にはインシデント報告を徹底し、事故防止に努めています。	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	22			6	事故等（怪我等を含む。）が発生した際には、保護者へ速やかに連絡を取り、状況説明等を行っています。事故防止マニュアルに基づき、必要な時には関係機関へ報告を行っています。	
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	28				運動課題や個別課題では、個々の自立力に合わせた課題を提示し、成功事例の積み重ねを原則に安心感を与えられるよう心がけています。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	26	1		1	まずは、嫌がらないでご利用いただくことから考えています。ただし、発達支援プログラムには、自立力の向上を目的とする意味合いが込められているため、「楽しんで…」が目的ではないと捉えています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	27	1			<ul style="list-style-type: none"> <li>・去年より時間が短くなり、短時間集中で良いのか？効果的には変わらないのか？多少疑問を感じている。</li> <li>・にごやかに利用しています。</li> <li>・療育館スタッフさんのおかげでできることもたくさん増えていると感じます。</li> <li>・日々の連絡どのようなことを行なったかなど写真付きで丁寧に説明があり、毎日安心して利用者できています。感謝しかありません。</li> </ul> ほとんどのご家族から満足いただいていることは、有りがたい限りです。より満足いただくためには、ご利用児の「成功」の積み重ねが自立力向上に繋がると認識しています。「生活しやすいからだ」は、すべての基盤であると考えています。ご家族と情報共有をしながら、ご利用児の育ちに寄り添い支援して参ります。	